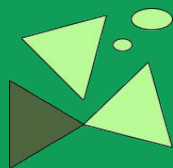


# セキュリティ教育 (外部公開)

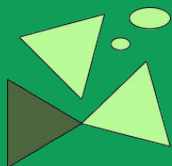
なぜ個人情報を守る必要があるのか？  
また、セキュリティの三原則を知ろう！

小林 栄太 (ピタマイ・テクノロジー)



# 基礎編

個人情報保護の重要性





# 個人情報保護の重要性 (箇条書き)

箇条書きで説明すると以下の通りです。

- 法律で義務付けられているから (個人情報保護法)
- 自分たちの信用を守るため (漏洩はサービス継続の危機)
- 個人の権利を守るため (プライバシー侵害や悪用を防ぐ)
- 万一のリスクが大きいから (対応コスト、損害賠償)



# 例として、どのようなルールがあるか知る

ピタマイ・テクノロジーでは、定められた「個人情報保護方針」があります。私たちが個人情報をどのように取り扱うかの具体的なルールブックです。



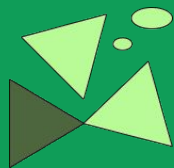
# ルールブックの主な内容

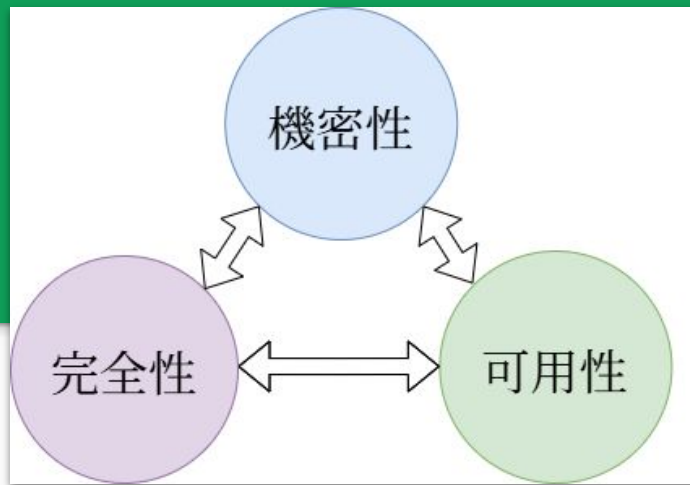
内容の確認: 特に以下の点を理解しておく必要があります。

- どのような情報を「個人情報」として扱っているか(第 1条)
- どのような目的で個人情報を利用するのか(第 3条) - 自分の活動がこの目的の範囲内かを確認する。
- どのような場合に第三者に情報を提供できるのか(第 5条) - 勝手に外部に情報を提供してはいけないことを理解する。
- どのような安全管理措置を講じているか(第 6条) - 守るべきルール(パスワード管理、書類の保管方法など)が含まれていることを認識する。
- 問い合わせ窓口はどこか(第 9条)

# 基礎編セキュリティの三原則

団体の活動全体で情報を安全に保つための基本となる考え方





「セキュリティの三原則」についてお話しします。

これは、個人情報や預かるようなサービス等や団体の活動全体で情報を安全に保つための**基本となる考え方**です。

この図にあるように、セキュリティには大きく分けて3つの大切な要素があります。「機密性」「完全性」「可用性」です。それぞれ見ていきましょう。



# 機密性(きみつせい) - Confidentiality

- これは、「許可された人だけが情報にアクセスできるようにすること」です。「秘密を守る」ということです。
- 例えば、Webサービス等で、ユーザーさんのデータが関係ない人に見られたり、漏れたりしないようにすることです。
- パスワードをしっかり管理したり、アクセス権限をきちんと設定したりするのは、この機密性を守るためです。



# 完全性(かんぜんせい) - Integrity

- これは、「情報が正確であり、改ざんされていないこと」を保証することです。「情報が正しい状態に保たれている」ということです。
- 例えば、重要な書類がまったく違う内容に書き換えられたりしないように、電子署名を利用したりします。
- データが正確でないと、Webサービス等が正しく動かなくなったり、間違った情報に基づいて判断・行動してしまったりする可能性があります。



# 可用性(かようせい) - Availability

- これは、「許可された人が、必要な時にいつでも情報やシステムを使える状態にしておくこと」です。使いたい時にちゃんと使える、ということですね。
- 例えば、Webサービスが、ユーザーさんが使いたい時にちゃんと動いていて、アクセスできる状態を保つことです。
- また、Webサービスの開発作業に必要なツールや情報に必要な時にアクセスできることも含まれます。
- 一見関係ないように思えますが、これはセキュリティと直結しております。  
システムが止まってしまったり、データにアクセスできなくなったりすると、作業や業務が滞ってしまいます。

「可用性」がなぜセキュリティと関係があるのか、疑問に思うかもしれません。

一般的に「セキュリティ」というと、情報を「盗まれないようにする(機密性)」とか「書き換えられないようにする(完全性)」というイメージが強いですね。

しかし、情報セキュリティの目的は、単に情報を守るだけでなく、「情報を適切な状態に保ち、正当な権限を持つ人が必要な時に利用できるようにすること」全体を指します。

ここで「可用性」、つまり「使いたい時にちゃんと使えること」が重要になってきます。なぜなら、セキュリティ上の脅威(攻撃)は、この「可用性」を直接的に損なうことがあるからです。





# まとめ1

三原則を簡単に言うと、

- 漏洩させない(機密性)
- 改ざんさせない(完全性)
- 使いたい時に使える状態を維持する(可用性)

ということです。



# まとめ2

この「機密性」「完全性」「可用性」は、どれか一つだけを守れば良いというものではありません。

この3つのバランスを取りながら、情報を守っていくことが大切です。

例えば、機密性を高めすぎてアクセスを厳しくしすぎると、今度は必要な時に使えなくなって可用性が損なわれる、といったことも起こります。

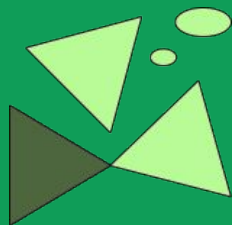
最後まで見てくれてありがとう!

問い合わせ:  
[eita@ptmi.jp](mailto:eita@ptmi.jp)

作成者: 小林 栄太

CC BY 4.0

©2025 PitaMai Technology  
/ Eita Kobayashi



## 免責事項

できる限り、正確な情報を提供することを努めますが、情報の正確性や安全性は保証しません。また、情報が古くなっている場合がございます。

